



開催報告：地域活性化フィールドワーク in 中通り

- ・福島県では、地域と関わる様々な方との連携により、住民が主役の個性と魅力あふれる地域づくりを目指し、地域・人材つながり支援事業に取り組んでいます。この取組の一環として、身近な地域活動の見学や住民同士の交流等による地域づくりの機運醸成を目的に「地域活性化フィールドワーク」を、浜通り・中通り・会津の3方部で行っています。
- ・中通りでの開催となる今回は、石川町で、旧小学校施設をリノベーションした、人々が集い・学び・交流する地域拠点づくりに取り組む「ひとくらす」を訪問しました。
- ・現場見学では、取組に至った背景や思い、地域の方々との関わりについてお話いただき、その後のワークショップで参加者の方々の学びの深掘りと共有を行い、最後に参加者から「ひとくらす」への「勝手アドバイス」を行い、双方に実りある内容となりました。

開催概要

日 時：令和8年8月27日（木）10:45～15:30
会 場：ひとくらす（旧石川町立中谷第二小学校）
（石川町中田字八又396-1）
講 師：宇都宮大学地域デザイン科学部教授 石井 大一郎 氏
一般社団法人ひとくらす 三森 孝浩 氏
内 容：①ひとくらすの見学
②グループでの意見交換、学びの共有、勝手アドバイス
参加人数：18名（自治会・協議会、地域おこし協力隊、自治体職員等）
主 催：福島県企画調整部地域振興課

参加者の感想（抜粋）

- ・廃校を地域の有志の方々と行政とタイアップしながら実績を上げ、更に前向きな工夫を重ねる目標を持ち事業推進されていて、大変参考になった。
- ・地域活性化のため、地域資産の利用など、事例を学べて良かった。
- ・小学校をリノベーションした事例は初めてで、非常に参考になった。
- ・事業を実施していくなかで感じた三森さんの本音が聞けて、非常に良かった。
- ・三森さんの何でも挑戦する・やってみる姿勢・精神が素晴らしく、この場所でのどのような地域づくりができるのか、試行錯誤しながら地域に根差した活動をされていて、とても良い施設だと思った。
- ・三森さんの思いが詰まった施設で、今度ぜひ利用してみたいと思った。

<フィールドワークの様子>



<グループワークの様子>

